令和6年 第6回選挙管理委員会会議録（要旨）

日時 — 令和6年6月25日（火） 午後2時00分～午後2時30分
場所 — 高層館12階 選挙管理委員室
出席者 — （委員）中井委員長、星原委員長代理、松井委員、山口委員
（事務局）小須田事務局長、花岡主幹、赤田係長、清瀬係長、菊川副主査

（中井委員長）

ただいまより第6回選挙管理委員会を開催いたします。

今日、全員が出席していただいております。

今日の案件は3つでありまして、1つ目は、令和6年度指定都市選挙管理委員会連合会通常会議の報告です。2つ目は、選挙人名簿の定時登録についての報告です。3つ目は、その他案件ということでもあります。

それでは案件1の通常会議の報告を、概要で結構ですからお願いします。

（小須田事務局長）

はい。

令和6年度指定都市選挙管理委員会連合会通常会議は、先月、令和6年5月22日・23日に千葉市で開催されました。

1ページ目が通常会議の表紙になっております。

日程表ですけれども、2ページ目に記載のとおりで、5月22日に会議、翌23日には講演会がありました。演題は「主権者教育と子ども若者の社会参画」でございまして、淑徳大学の矢尾板教授が講師になって講演の方をいただきました。

堺市からは、両日ともに中井委員長と星原委員長代理、そして小須田が出席させていただきました。

続きまして会議の次第になります。3ページをご覧くださいませでしょうか。

提出議題ということで、5番目にありますように、第1号議案から第6号議案までございました。

6番目にその他として「選挙結果報告」について、令和5年10月22日に施行されました宮城県議会選挙について仙台市から報告がありました。こちらの添付資料はございません。

そして7番目が令和6年度役員選挙について、最後に表彰状の授与がございました。

資料は抜粋しておりますが、5ページ目、第1号議案としまして、令和5年度の指定都市選挙管理委員会連合会の事業報告を添付させていただいております。

1番目に通常会議ということで、令和5年6月に、神戸市で開催されております。

そして6ページですが、委員長会議が12月11日に東京都で開催されております。

7ページの4番、事務局長会議ですけれども、令和5年5月に相模原市主催でウェブ開催、11月には岡山市で対面の会議を開催しております。

会議内容の詳細につきましては、資料に記載のとおりとなっております。

そして8ページ目の5番、研修会の(1)で、主管課長・係長研究会議が記載されております。令和5年8月に本市が当番市となり、8月16日・17日と、資料に記載の内容の議論を行ったところでございます。

続きまして、12ページをご覧くださいませでしょうか。第2号議案です。こちらは、令和5年度の連合会の歳入歳出決算報告でございまして、内容につきましては12ページから14ページに記載のとおりとなっております。

そして次に、15ページの第3号議案です。こちらの方は、令和6年度公職選挙法等選挙関係法令の改正に関する要望書についてです。

A要望が各市共通の重要な問題で緊急な法改正が必要として、国会議員等へ要望するもの、B要望が総務省等へ法令等の改正を含め、改善を要望するものでございます。

A要望は今回16ページの3番にありますように、「インターネット投票の導入」が新規項目として追加されております。詳細につきましては19ページに記載のとおりとなっております。

続いてB要望ですが、23ページと24ページに記載のとおり27項目ございます。

新規項目は、4番、10番から13番、それと18番と19番の7項目でございます。詳細につきましては、4番でしたら28ページ、10番から13番でしたら32ページから35ページ、18番と19番でしたら39ページと40ページをご参照いただけたらと思います。

続きまして、47ページの第4号議案でございます。こちらは令和6年度の連合会の事業計画でございますが、今年度の通常会議でありますとか、委員長会議、事務局長会議等の開催について記載されております。

続いて、50ページの第5号議案でございます。こちらは令和6年度の連合会の歳入歳出予算案ですが、内容は50ページから52ページに記載のとおりで先ほどの4号議案の事業計画に基づくものとなっております。

そして次に54ページですが、第6号議案として令和6年度指定都市選挙管理委員会連合会表彰についてということで、委員25名・職員26名が被表彰者等として提案されました。

以上6件、提出議題につきましては、全て全会一致で承認されました。

そして最後に、資料は添付しておりませんが、令和6年度の役員選挙でございますが、今年度は名古屋市が会長市、副会長市は仙台市と横浜市の2市で、各市の委員長がそれぞれ会長、副会長を担っております。

通常会議の報告につきましては、以上です。

(中井委員長)

ありがとうございました。

今、事務局長から通常会議の報告をしていただきました。

このことについてご質問ありましたら出してください。

(委員)

なし。

(中井委員長)

質問がないということでございますので、案件 1 の令和 6 年度指定都市選挙管理委員会連合会通常会議の報告については了といたします。

それでは案件の 2 番、選挙人名簿の定時登録についての報告をお願いします。

(赤田係長)

はい。

57 ページの定時登録のところをご覧ください。

(1)の右側、今回の登録者数合計は 7,964 人で、内訳としましては、18 歳到達者が 1,931 人、転入者が 6,033 人でございます。結果として、(2)の登録者総数は、680,348 人でございます。

では次のページに進みまして、58 ページとなります。

上の表に、各区の選挙人名簿登録者数を表しております。その表の左下太枠部分、681,232 人となっており、こちらは前回の定時登録者総数でございます。一番右側の太枠部分が、先ほど申し上げた、6 月 1 日の登録者総数 680,348 人でございまして、今回 884 人減少しております。

下の表は各区の在外選挙人名簿の登録者数でございます。

左下の太枠の囲みの部分、367 人。こちらが前回の登録者数でございます。右端の囲みの太枠の部分が、今回の 6 月 1 日現在 364 人ですので、3 人減少しております。

59 ページから 62 ページまで 4 ページにわたりましては、各区の名簿登録者数を表しております。

続きまして 63 ページをご覧ください。

「各区投票区の状況」を登録者の規模別に分類して整理しております。表と表の間に記載している最小 761 人とありますのは、美原区第 11 投票区である丹上公民館の人数を表しております。その右側の最多 12,404 人とあるのは中区第 8 投票区である、東百舌鳥小学校を表しております。

続きまして 64、65 ページにつきましては、堺市選挙管理委員会告示の第 3 号の告示、第 4 号の告示となります。

条例制定改廃直接請求の必要数を示す 50 分の 1 の数は、13,607 人でございます。

次に市町村合併協議会設置協議を求める投票の請求の必要数を示す 6 分の 1 の数は、113,392 人でございます。

議会解散・市長等役員の解職に係る請求の必要数ですが、180,058 人でございます。

告示第 4 号でございますが、議員・区選管委員の解職請求の必要数で、各区の登録者数の 3 分の 1 の数を記載しております。

案件につきましては説明以上となります。

(中井委員長)

ありがとうございました。

今、定時登録の報告をいただきましたが、この案件についての質問等ありましたら出してください。

(委員)

なし。

(中井委員長)

それでは定時登録の報告については、質問がないとのことですので、報告を了といたします。

次に、その他案件は何かございますか。

(花岡主幹)

はい。事務局から報告させていただきます。

全4ページの資料をご覧ください。こちらの内容につきましては、令和6年第2回市議会にて、前回5月の定例会でまとめた、令和5年堺市長選挙の総括について議会で質疑がありましたので、ご報告します。

質疑者は、大綱質疑は大阪維新の会の三宅議員、総務財政委員会で同じく大阪維新の会の伊豆丸議員からでございます。

まず1つ目、三宅議員の大綱質疑の内容をご報告いたします。

1つ目に堺市長選挙に関するアンケート結果について、2つ目に堺市長選挙に関する検証の総括についての質問でございます。

①の質問の概要でございます。アンケート実施の経緯と、アンケート結果の概要についての質問でした。回答はご存知の内容のため、ここでは省略させていただきます。

この答弁に関して、質問者側のコメントがありました。

アンケートの実施により、有権者の考えを確認したことについて、会派として大いに評価します。1095人がご回答いただいたことは、全体像を把握する数字としては十分な回答人数である。

以上が質問①の内容です。

次に、質問②の概要です。

こちらから検証の総括についての質問に入ります。アンケート結果から、同日実施すべきと回答する割合が高く、別日程とした選挙管理委員会の認識と有権者との認識には大きな乖離が生じている。これについての見解を問う質問でした。

こちらの質問については、このような回答としています。

「同日実施にすべき」を選択した57.4%という割合は非常に大きな数字である。一方で、「単独の選挙で良かった」とする22.9%の意見も直視が必要である。また、「わからない」

とする 18.7%もあり、「単独の選挙でよかった」の割合と合わせて 41.6%の数字が出ている。

答弁の 2 番、「合わせて 41.6%」という表現をした意図は何か、という質問でした。「同日実施にすべき」57.4%という割合に対して、それ以外とする 41.6%の割合を示した、と回答しています。

答弁に対する質問者側のコメントです。

41.6%という数字をあえて出す必要はなく、総括として正当性はないという判断をせざるを得ない。

次に答弁内容 3 に移ります。単独選挙実施による、有権者の投票所へ通う負担増、過去 4 番目に低い投票率及び選挙執行経費の増加についての見解を問う質問です。

こちらの質問については、このような回答としています。

過去 4 番目に低い投票率となったことは重く受け止めている。

統一地方選挙と同日実施の方が相乗的に選挙への関心が高まるため、単独実施の結果よりは投票率が上がっていたものと思われる。

投票率が高いことは重要である。ただし、有権者がそれぞれの候補者の政策や主張について判断しやすい状況を整えることも重要である。

選挙管理委員会としては、今後、この 2 つの視点を配慮すべきと認識している。

引き続き経費面には配慮しつつ、適正な選挙執行に取り組む。

この答弁に対する質問者側のコメントです。

同日であれば投票率が上がっていただろうと認めたことは評価する。しかし、アンケート結果を見れば、有権者の認識と選挙管理委員会の認識に乖離があったことは明らか。

同日でも候補者の主張を有権者が把握する方法もある。単独選挙でなければできないわけではない。

今回のアンケート結果を検証し、投票率の向上及び大阪維新の会として求める期日前投票の区役所以外での設置をする等、投票に参加する機会を増やしていく施策に取り組むよう要望する。

以上が大綱質疑の内容でございました。

次に、2 番、総務財政委員会の内容でございませう。質問は 2 つです。

1 つ目が、令和 5 年堺市長選挙の総括の取組における、若年層への投票率向上策としての取組方法と取組の評価方法について。2 つ目が、選挙啓発ポスターの掲示を民間企業等へ依頼することの取組方法と取組の評価方法について。

3 ページ目へ移ってください。

①の概要です。質問内容は先ほど読み上げさせていただきましたとおりでございます。

この質問については、若年層への啓発活動としては現在、出前授業の開催や、投票箱の資材貸出しを実施しています。また、市内小中高生を対象に明るい選挙の推進をテーマとしたポスター・書道作品による選挙啓発を行っているというような答弁をさせていただきました。

これに関する質問者のコメントとして、取組内容については既に実施済みであり、目新しい内容ではない。また昨年の堺市長選挙においては効果がなかったという評価になる、というものでした。

次に2つ目の質問の内容に移ります。

事務局の答弁としては、公共施設等の選挙啓発ポスターの掲示に加えて、民間企業等へポスター掲示を依頼することで、これまで以上に選挙情報を得られる機会を増やすことを検討している。まずは若年層が訪れる機会の多い場所にポスターの掲示ができるよう、関係機関と調整すると回答させていただきました。

これに関してのコメントとして、ポスターの掲示について意味がないとは思わないが、選挙に関心がない人に対して効果はない。総括には選挙管理委員会として投票率の向上策についての主体的なソリューションが記載されていない。その策は、期日前投票所の増設という投票所のアクセスの改善しかない、というものでした。

以降は答弁の内容ではなく、総括全般に対するコメントがありましたので、ご紹介しません。

大阪市では4つの選挙が同時に行われたが、大阪市民から候補者の主張や争点が理解できないという意見はなく、選挙が複数実施されれば、候補者の主張等を理解できないというわけではない。

2ヶ月の空白期間について、議員も不在期間が3週間ある。3週間が良くて2ヶ月は駄目だという考えに合理性がない。そもそも市長には職務代理者も存在する。

総括の内容はアンケート結果の捉え方に恣意性があり、総括の体をなしていない。なぜなら、統一地方選挙と同日実施しないと決定した当時の選挙管理委員会の判断が、今回のアンケート結果から大いに疑問があり、その疑問に対して明確な答えがなく、当時の判断を後づけで正当性があるような総括をしているため、大阪維新の会としては納得できない。

以上が議会質疑の報告でございました。

(中井委員長)

その他案件はこの案件だけですか。

(花岡主幹)

はい。

(中井委員長)

第2回市議会定例会の報告をしていただきました。

このことについて何かご質問はありますか。

(星原委員長代理)

質問というより意見ですけれども、大阪維新の会が主張していることが全てではないと

思います。

(中井委員長)

他の方はよろしいですか。

(委員)

はい。

(中井委員長)

それでは、私自身の拙い答弁でしたけれども、選挙管理委員会として決定したことを踏まえて、答弁をさせていただいた次第であります。

これで、第2回の定例会市議会の選挙管理委員会に関係するところの報告を終わらせていただきます。さらに詳細は、会議録を見ていただくということにしたいと思います。報告ありがとうございました。

それでは、その他案件はこの1件だけということでありましたので、第6回選挙管理委員会の案件1、2、3は滞りなく終了させていただきます。

では、これもちまして第6回の選挙管理委員会を閉会いたします。